

怒り 結集 悪政 はね返す

2万4000人
国民大集会
志位委員長あいさつ

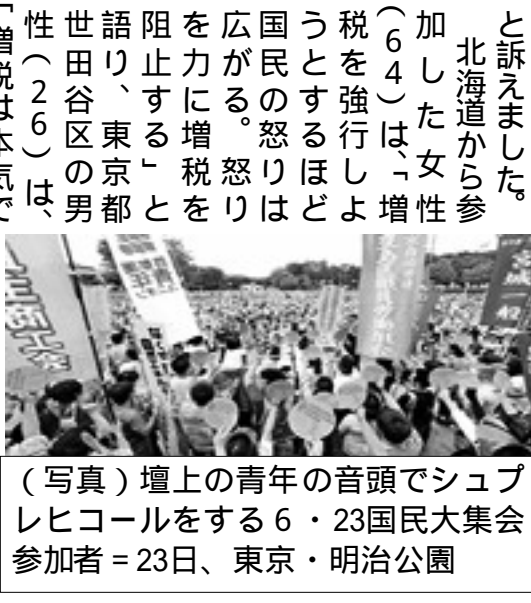
消費増税大増税、社会保障大改悪、原発再稼働、環太平洋連携協定（TPP）への参加……。野田内閣と民主、自民、公明3党による悪政をはね返す、「いのちと暮らしを守れ！ 怒りの国民大集会」が23日、東京・明治公園で開かれました。全国から2万4000人が参加。前夜、「原発再稼働やめよ」と首相官邸前でおこなわれた4万5000人の抗議行動とともに、国民の力で悪政をはねかえす確信がみなぎる集会となりました。

民自公3党が、消費増税法案などを26日にも強行可決して、衆院を通過させようとしています。参加者は、うちわに書かれた「怒」の文字を掲げ、必ず廃案に追い込む強い意思を示しました。

全労連の大黒作治議長が主催者あいさつし、マスコミが「決められない政治」とあおっても、消費増税と原発再稼働は決めてはならない、と強調しました。

連帯あいさつをした主婦連合会の山根香織会長は、「止めどない増税が生活を破壊する。断固阻止したい」と語り、東日本大震災復興旧・復興支援みやぎ県民センターの綱島不二雄代表委員は、「被災者が主人公の、本当の復興をなしとげたい」とのべました。

日本共産党の志位和夫委員長が連帯あいさつし、「民自公は、国会の中では多数かもしれないが、国民の中では日に日に孤立を深めている」と指摘。「消費増税、TPP、原発、基地、それぞれの切実な一致点での共同を進展させながら、互いに連帯を強め、日本を変える新しい統一戦線をつくろう」と



（写真）壇上の青年の音頭でシュプレヒコールをする6・23国民大集会参加者=23日、東京・明治公園

と訴えました。北海道から参加した女性（64）は、「増税を強行しようとするほど国民の怒りは広がる。怒りを力に増税を阻止する」と語り、東京都世田谷区の男性（26）は、「増税は本気で止めます。やってやるぞ、という思いです」と話しました。

参加者は「怒りを運動の力に変え、たかいたかいう強め、悪政阻止にむけて全力をあげましょう」とした集会アピールを採択。集会後、3コースに分かれて都内をデモ行進しました。

主催は、全労連や全国商工団体連合会、全日本医師連、農民運動全国連合会、新日本婦人の会などでつくる同集会実行委員会です。

2012年6月24日(日)

分裂へ加速“総選挙なら増税賛否どうする...”

野田内閣と民自公3党が、消費増税と社会保障大改悪の関連法案の衆院採決を26日にも強行する構えの中で、民主党内の分裂への流れが加速し、「解散総選挙も避けられない」という声が漏れ始めています。

「地元に戻れ」

奥石東幹事長に、法案が採決されれば反対する意思を伝えた小沢一郎元代表は自身のグループの会合でも離党・新党結成を視野に行動する考えを表明し、参加議員などから署名入りの離党届を集め始めました。22日、同グループは会合を繰り返し、「それぞれの地元に戻ってしっかり訴えよう」などと話しあいました。

鹿野道彦前農水相のグループは22日国会内で会合を開き情勢を分析。「党の分裂回避と解散回避を最優先に奥石幹事長に大いに役割を果たしてもらおう」ことなどで一致しました。

出席議員の一人は、「造反は相当数にのぼる。甘くない」と述べます。採決に突入した場合、造反議員に対する除名や離党などで54人以上が抜ければ、民主党の議席が衆院で過半数割れとなり、政権運営が難しくなります。同議員は「政権維持できない状態になれば、解散・総選挙になる。いま選挙すれば民主党は大惨敗だ」と指摘。会合では、採決を回避するため、法案の取り下げを野田首相に求めることなども話しあわれたといま

「選挙体制に」

しかし法案は22日に衆院で審議入りしており、取り下げ要求に現実性はありません。同グループ関係者の一人は、「こ

東日本地震・12号台風への救援募金にご協力を

日本共産党は被災者の救済・支援のために、救援募金を引き続きお願いしております。ご協力をお願いします。

【郵便振替口座】

0017017198422

名義は、日本共産党中央委員会です。送金いただく場合は、振替用紙の通信欄に、かならず、「地震救援募金」である事を明記して下さい。ご協力よろしくお願ひします。

磯城郡日本共産党議員団

これまでであれば採決突入、党分裂は必至。この土日からはいっせいに選挙体制に入ることになるだろう」と語ります。

他の議員は、「選挙を先延ばしにした」という気分が強いことが、法案への反対をためらわせてきた。しかし、分裂必至、解散が避けられないという状況が強まれば、増税に賛成し、民主党にとどまらず選挙することは難しいと多くの人が考え始める」と分析します。

消費増税問題にとどまらず、原発再稼働強行、環太平洋連携協定（TPP）問題での国民の怒りを前に、民主党は立ちすくむばかりです。

2012年6月23日(土)

貧困根絶は最大の課題 リオ+20閉幕 文書採択

【リオデジャネイロ＝島田峰隆】当地で20日から開かれていた「国連持続可能な開発会議」（リオ+20）は22日、貧困根絶や地球温暖化防止への取り組みなど持続可能な開発への課題と決意を記した成果文書を採択して閉幕しました。潘基文（パンギムン）国連事務総長は同日、「仕事はこれから始まる」と語り、各国に行動を呼び掛けました。

成果文書は「貧困の根絶は世界が直面する最大の地球的規模の課題である」と指摘。「公正、平等な世界に向けて努力する」、「持続可能で包括的な経済成長を促進するために力をあわせる」と述べています。

一方で、資金援助などをめぐる先進国と途上国の対立を反映して、具体的な目標などは掲げていません。非政府組織（NGO）などからは「内容が不十分だ」という批判が出ています。

会議には100カ国以上の首脳が参加。NGOや企業関係者などを含めて4万人余が集まりました。

リオ+20は、1992年に同地で開かれた「国連環境開発会議」（地球サミット）以来の到達点と課題を検討し、今後の取り組みを確認することを目的に開かれました。

2012年6月24日(日)

日本共産党発行
赤旗
日刊●月3,400円
日曜版●月800円

2012.6.26 NO.559

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp
川西町結崎 862-7 0745-43-2415
吉田容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
田原本町大木 113-5 090-5257-4446
森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
（事務局）池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

平和行進

広島・長崎の原爆禁止世界大会に向けて、平和行進が行われています。通し行進者の竹田昭彦さんと奈良県の実行委員会が三宅町へ申し入れを行い、同席しました。申し入れには、出井副町長、総務課長、議会事務局長が対応しました。

竹田さんは「原爆をなくせば世界が平和になることを信じ昨年も行進してきた。昨年は、3・11の東北の大震災で福島県内では行進できない所もあった。グラウンドもプールも使えない所もあった。そして集団疎開をしている状態。原爆と原発をなくしたい」と語っていました。副町長は「8・3に全

各国の核分裂物質の蓄積量		
国名	高濃縮ウラン	プルトニウム
中国	16±4t	1.8±0.5t
フランス	30.6±6t	62±1t
インド	2.0±0.8t	4.6±0.65t
イスラエル	0.3t	0.82±0.15t
日本	1.2 - 1.4t	44.9t
パキスタン	2.75±1t	0.135±0.045t
ロシア	737±120t	176±8t
イギリス	21.2t	95.3t
米国	610t	91.9t

原水爆禁止世界大会パンフから

校登校日で、平和の学習会や、磯城郡の平和のつどいの後援を昨年同様行っている。平和都市宣言の立て看板については、以前の議会でも取り上げられているが、予算の優先順位から、実現されていない」と回答。原爆写真の購入についても即答は避けました。



「までのいの力」

先日、「広陵町九条の会」に参加しました。福島県飯館村に住み、自然農園、農家民宿、レストランなどを営んでいた村上真平氏が飯館村からの報告を映像を交えて話して下さいました。

十年前から「自給自足」を基本にしながら自然農法での米づくりや、無農薬の野菜づくりなどにこだわり、地元だけでなく農業体験などで外部の人も幅広く受け入れながらやって来たそうです。

ところがあの3・11の大震災。原発の事故を知り、十二日午前三時に妻、子どもたち、研修生の六人で車に乗り込み、避難したそうです。私は村上氏が持って来

られた「までのいの力」という本を買いました。「までのい」とは、手間ひま惜みせず、丁寧に心をこめて、つつましくという意味の方言だそうです。この本は3・11の大震災の以前の飯館村の取り組みの様子が書かれ、また沢山の写真が素晴らし

い。緑豊かな自然！村人の屈託のない笑顔！こんな素敵な村を三十七センチ土をはぎとつても五十年から百年は人が住めなくしてしまつたのは一体誰なのか！お金では買えないこの自然を、ふる里を壊したのは誰なのか！

私のメガネは涙で曇ってしまった。田原本町議会議員 森 良子



再分配

今週も雨が続きそうですね。週末はうまい具合に晴れてくれましたんで、洗濯物は無事に片づけられました。予報では来週末は雨模様？との事。なかなか思うようには運びませんね。

この間、町長等との議論を通じて、川西町では子どもの医療費への補助、ヒブや子宮けいがん、肺炎球菌等のワクチン接種への補助等が手掛けられ、今年からは70歳以上の肺炎球菌ワクチンへも補助が始まりました。

こうした取り組みは、集めた税金を何にどう使うのかの振り分け方でありまして、役場の取り組みとは、一言で言えば、この見極めです。今度の六月議会では、こうした

税金に加えて可燃ゴミの有料指定袋代や水道料金等で別途住民負担が敷かれていますので、集めたお金の使い道として、こうした税以外の負担に対して、どう住民に分配して行くかについて議論を進めました。

ごみ問題では、減量効果は確実に出ていまして、ごみ袋の有料化により約一千万の収入増ですから、これらを、資源回収団体などへの単価増等へ。水道料金では、基本料金について、使用料に応じた従量制等、累進負担を視野に入れて考えたいとの意向がそれぞれ示されました。

川西町議会議員 芝 和也



中学校配食弁当

今年の四月から南小学校の給食調理を名阪食品が業務を請負っています。その入札のときに、中学校の昼食に弁当を提供する条件が付けられています。

中学校の配食弁当の正式契約はこれからのようですが、名阪食品が請負うことははっきりしています。南小学校給食の人員費が四二四万円から委託料一八八万円に跳ね上がったのも、この弁当の受注も込みの話だからでしょう。

そこで、六月議会では、食材にこだわるよう対策を求めました。なぜか？今、安い弁当には中国やブラジル産の筑前煮などが使われていること、そ

れが、国内で詰め替えただけで「国産」に変身。百貨店で売られているおこわの弁当にさえ一五品種の添加物が入っていました。着色料（カラメル、赤色一〇六、）に発がん性、改良剤リン酸塩に骨の形成異常、調味料（アミノ酸等）に味覚異常や化学物質過敏症などの危険性が指摘されています。

大人なら心配しません。が育ち盛りの子ども達も食べるとは問題があります。そんな心配の要らない弁当を提供してほしいものです。給食ならそんな心配のないのね。

田原本議会議員 吉田容工

